

令和8年 年頭の辞

特 集

サッカーを通じて「こころ」を育む
浦和レッズハートフルクラブ

おおつちNEWS ～町の話～

#おしゃっち 大槌町文化交流センターのページ

すくすく広場 子育て情報のページ

楽笑幸齢者になろう！ おらほの町の地域包括支援センター
冬は感染症に気をつけましょう！

大槌町教育委員会だより 檺の梢から

くらしの安心だより
ごみ出しマナーアップのお願い
大槌町一般廃棄物処理基本計画の改定に係る意見募集 ほか

おおつちインフォメーション

おらDoの協Do！「おもっせえ」活動を紹介！やっべし協働！

冬の星空を楽しむ

令和7年12月6日（土）、おしゃっちで行われた「星空かんさつ会」。雲一つない夜空に輝く月や星座を眺めながら、新年への希望に思いをはせました。



令和8年 年頭の辞

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、ご健勝にて清々しい初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ると、改めて災害対応の重要性について考えさせられる一年となり、漢字一文字で表すとすれば、「備」を選びます。

令和7年12月8日に発生した青森県東方沖の地震では、本県沿岸部に「津波警報」が発令され、内閣府および気象庁から、制度開始後初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。「津波警報」に伴う避難所では、寒暖差対策が大きな課題となり、避難の長期化、避難者数の増加を想定すると、より一層の「避難所環境に対する備え」「命を守る備え」が必要であると改めて認識しました。

東日本大震災津波から14年と4カ月の歳月を経て令和7年8月5日、鎮魂の森「あえーる」が完成し記念式典を執り行いました。同月15日には、完成記念花火として、犠牲となられた方と同数の1286発の花火を打ち上げました。「あえーる」が将来にわたり町民に愛され、大切な場となるよう「震災により受けた被害や、人々、地域が受けた悲しみを忘れない」「震災により得た教訓を次世代に伝える」「同じ悲劇を繰り返すことが無いよう備える」を継続し、震災伝承・防災教育への活用を図ってまいります。

昨年は、町内外において熊による人身被害が増加し、9月から「緊急銃猟制度」が開始されました。この制度は、「人の生活圏に出没し」「緊急性が高く」「安全が確保できる」場合に限り、

市町村長の判断で市街地での銃による捕獲が認められる制度です。

町は、緊急銃猟の実施体制を構築することともに、罠などの捕獲体制や緩衝帯の整備を強化するなど、引き続き関係機関などと協力し、安全安心なまちづくりに努めてまいります。

町の特産品「岩手大槌サーモン」につきましては、昨年の水揚げ量は1200トンを超え、当初計画の1000トンを上回る結果となりました。昨年11月には和野地区に養魚場が完成し、「岩手大槌サーモンの稚魚」および「桃畑学園サーモン」が飼育されています。

今後も、地元消費の拡大、6次産業化の推進など、地域への波及効果を高める施策に取り組みます。

本年11月には、「（仮称）みんなのひろば」が完成予定であり、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が各々のライフステージに応じた生涯学習や健康増進の場として、多世代が交流できる場となるよう整備を進めます。

さて、今年は、私の座右の銘である「人間万事塞翁が馬」の「午年」であります。経済情勢や自然災害など、予想し難い状況ではありますが、五感を研ぎ澄まし、柔軟に対応し、「情熱」をもって「前進」「飛躍」のある町政運営に鋭意取り組んでまいります。

結びに、本年が皆様にとって穏やかで素晴らしい一年となりますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

令和8年元旦 大槌町長

平野公三